

第 2 日本人間工学会第 47 回大会報告（概要）

第 47 回大会は、大阪市立大学大学院教授 岡田 明会長の下に、同大学杉本キャンパスの学術情報総合センター及び全学共通教育棟において、6 月 9 日（金）～11 日（土）までの三日間に亘り開催、併せて大韓民国の人間工学研究者が参加した国際的な第 9 回日韓ジョイントシンポジウムも開催された。国内・外からの参加者総数は約 700 名に及び例年に比較して多く、盛会裡に終了した。その結果概要は次のとおりである

1. 内容

- 9 日 : 公開企画:新しい人間工学の世界を探る
(基調講演、大会企画シンポジウム、若手の企画)・(理事会)
- 10/11 日 : シンポジウム 5 件、一般演題 201 テーマ (口頭 : 158、ポスター 43)、
日韓共同シンポジウム 36 テーマ (日本 : 17・韓国 19)、
企業・研究室紹介 14 件、企業展示 17 社、書籍販売、
: 総会及び評議員会 (6/10) ・懇親会 (6/10)

2. 参加人数

- 大会 : 694 名 (内訳 ; 正会員 301 準会員 56 非会員 99 学生非会員 151
賛助会員 41 招待者 13 韓国 24 不明 9)
- 懇親会 : 160 名 (内訳 ; 一般 102 学生 44 招待者 2 韓国 7 不明 5)

3. 評価

- ・参加者・演題数とも近年では最も多かったが、昨年度から導入されたウェブによるエントリーシステムが効力を発揮した。
- ・日韓共同シンポジウムの演題数が大幅に増加した。